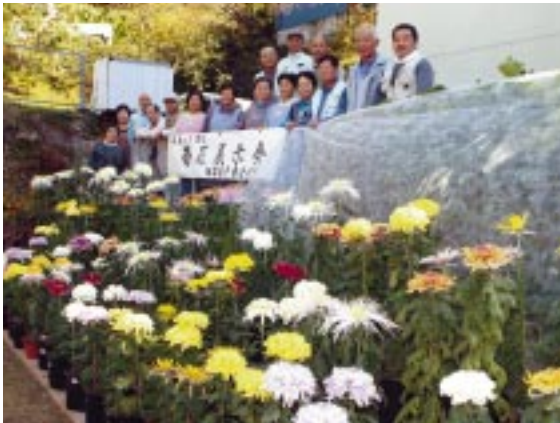




▲椎葉の花々が飾られた戦没者慰霊塔。

## 戦没者を偲んで

10月28日、若宮地区の村体育館敷地内に建立されている「戦没者慰霊塔」に、村福祉関係者によって椎葉で生産された花などが飾られました。今年は台風災害の影響で村主催の戦没者追悼式が中止に。しかし、今年は戦後60年という節目の年でもあり、同日は多くの遺族の方々が慰霊塔を訪れ、戦没者を偲びました。



▲色鮮やかな菊を観賞し合った旧岩屋戸集落の皆さん。

## 菊の花展示会

10月29日、旧岩屋戸公民館で「菊の花展示会」が行われました。これは、昨年結成された旧岩屋戸菊愛好会（那須宗勝会長 会員15名）が主催したもので、これまで同会を指導してきた黒木隆夫さん（吐野々）も交えて各家庭で丹誠込めて育てられた菊の花を観賞しました。

9月の台風14号により会員の中には家が全壊した人がいるなど、管理も大変苦労されたとのことですが、展示会では昨年の2倍以上となる68鉢の色とりどりの菊が飾られ、ほかの集落からも多くの見物人が訪れました。地域を花で飾る菊づくりを通して、住民の結びつきを強めるとともに、生きがいにもなっているそうです。



▲県大会で優勝した蔵座元気君（椎葉中2年）。

## 砲丸投で県大会優勝

11月6日、宮崎市の県総合運動公園を主会場に第29回県中学校秋季体育大会が行われました。本村の中学1、2生も陸上や剣道、卓球など各競技に出場。結果、陸上競技の共通男子砲丸投に出場した蔵座元気君（椎葉中2年、追手納）が、12m57cmで見事優勝しました。

蔵座君は普段は野球部に所属。陸上経験はほとんどありませんが、捕手としての強肩を生かし、持ち前の大きな体格と体力で他校の優勝候補を退けました。予選の郡南大会では大会記録を更新。今後の活躍が期待されますが、「優勝の実感はありません。今度は野球でも優勝をしたいです。」とうれしそうに話していました。



▲しめ縄の張り替え作業を行った皆さん。

## 新しくなった椎葉門のしめ縄

11月8日、本村と諸塚村の村境に建つ椎葉門（佐土ノ谷）のしめ縄が、新しいものに張り替えられました。毎年、椎葉平家まつりの時期にあわせて11月に交換されるようになって21回目。今年も村身体障害者福祉協議会と村母子会の方々がボランティアで清掃と張り替え作業を行いました。

国道327号沿いにあり、椎葉の玄関口として憩いの場所でもある椎葉門。今年収穫された稲わらで作られた真新しいしめ縄が、多くのドライバーを出迎えています。